

20代・若手人材の「転職観」
— 最新トレンドをひも解く —



転職意識調査レポート

つくるのは、未来の選択肢

学情
GAKUJO
東証プライム上場

RE就活®

20代転職希望者（「Re就活」サイト来訪者）対象

転職意識調査レポート2025

20代・若手人材の「転職観」－最新トレンドをひも解く－

株式会社学情では、20代の「転職観」を調査すべく、20代の転職希望者を対象に

「就職・転職活動に関するアンケート」を実施いたしました。

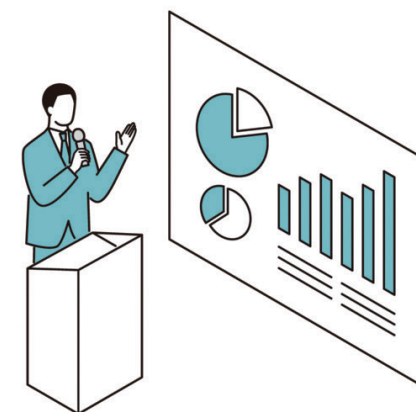
その回答を集計し「転職意識調査レポート2025 20代・若手人材の『転職観』－最新トレンドをひも解く－」として発表いたします。

INDEX

01	回答者属性	・・・3	06	年収	・・・10
02	「転職」の捉え方	・・・5	07	カジュアル面談	・・・11
03	就職活動と転職活動の違い	・・・6	08	転職活動を行う時期	・・・14
04	転職理由	・・・7	09	AI活用	・・・15
05	転職の方向性（転職で実現したいキャリア）	・・・9			

TOPICS

- 20代転職希望者の6割近くが、社会人になる前から転職を視野に。
「転職すべきか迷うことがあった」は7割超、早期離職のマイナスイメージ気にする人多く (P6)
- 「新卒の就活と比べ、重視することや企業を選ぶ視点変化」との回答が8割。
転職先では長く働きたい人が7割近くに (P7)
- 20代の転職理由は「給与・年収アップ」が最多。
ヤングキャリアは「やりがい」「残業・休日」、第二新卒は「人間関係」「風土」重視の傾向 (P8)
- 転職で実現したいことは、ヤングキャリア、第二新卒とも「給与・年収が上がること」が最多。
職歴なしの既卒者は「希望する仕事」がトップ (P9)
- 20代転職では「キャリアアップ」より「キャリアチェンジ」の希望者が多数。
キャリアチェンジでヤングキャリアは仕事内容、第二新卒は給与など待遇改善を重視 (P10)
- 職歴ある20代の希望年収は「401万円以上」が54.5%。
ヤングキャリアは3分の2近く、第二新卒も半数を占める (P11)
- 20代転職希望者の9割近くが「カジュアル面談」を希望。
カジュアル面談で聞きたいことは「入社後の自分の仕事内容」が最多 (P12)
- カジュアル面談参加者の過半数が「志望度上がった」と回答。
志望度が上がる情報は「未経験者でもやっていけるか」、研修などサポート体制を重視 (P13)
- 「3カ月以内」の転職希望、ヤングキャリアは4割弱、第二新卒・既卒は半数超。
第二新卒の積極姿勢目立つ (P14)
- 「転職活動で生成AIを利用」が半数近く。
「自己PR作成・添削」が最多、応募書類・面接対策・企業研究など様々な場面で活用 (P15)



01

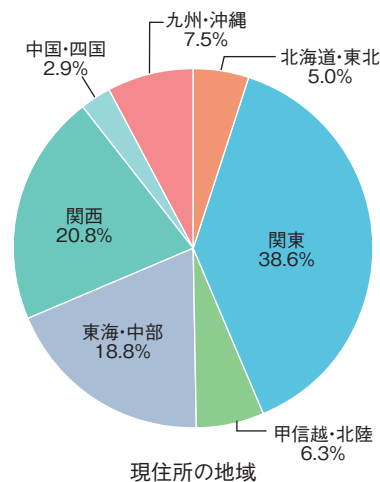
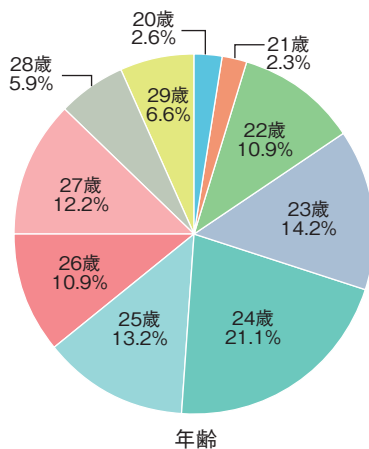
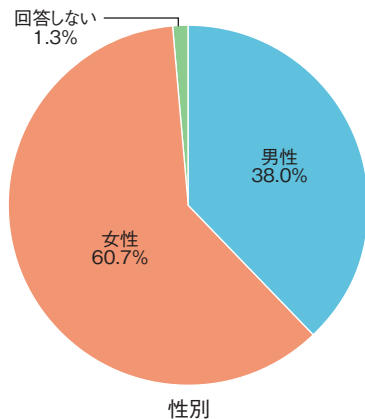
回答者属性

調査概要

- ◆調査期間 : 2025年8月2日～2025年8月18日
- ◆調査機関 : 株式会社学情
- ◆調査対象 : 20代就職・転職希望者 (20代専門転職サイト「Re就活」)
- ◆有効回答数 : 303件
- ◆調査方法 : Web上でのアンケート調査

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

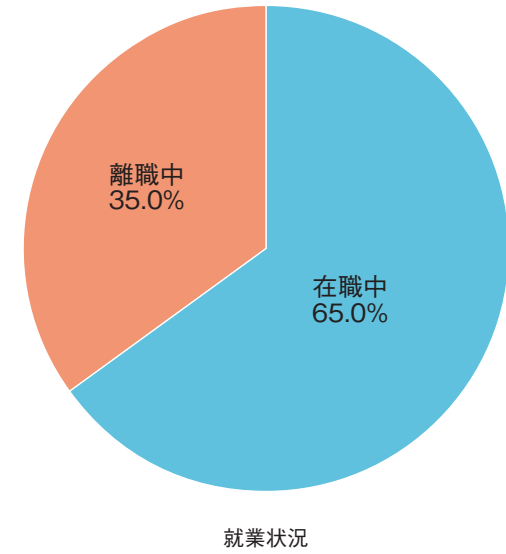
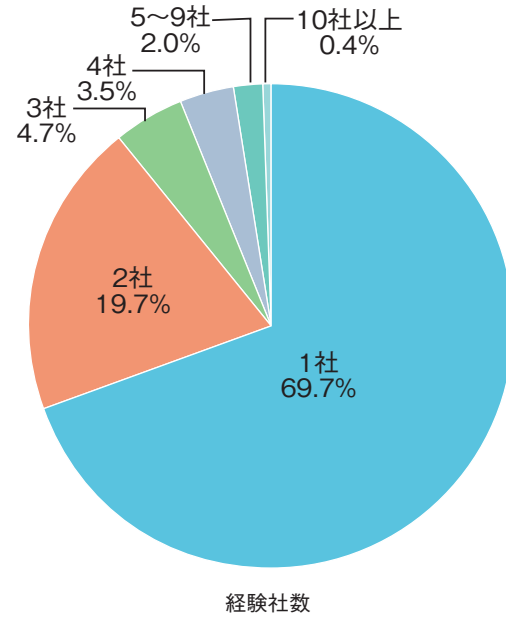
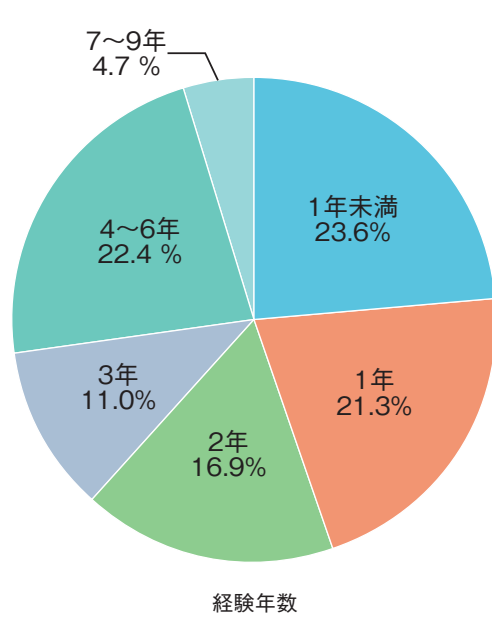
■基本情報



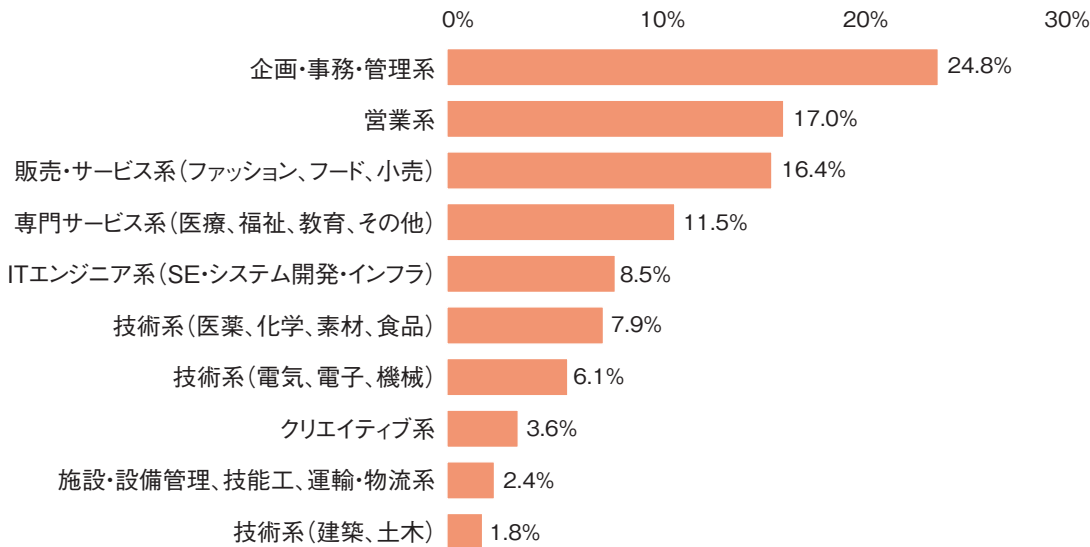
■就業経験



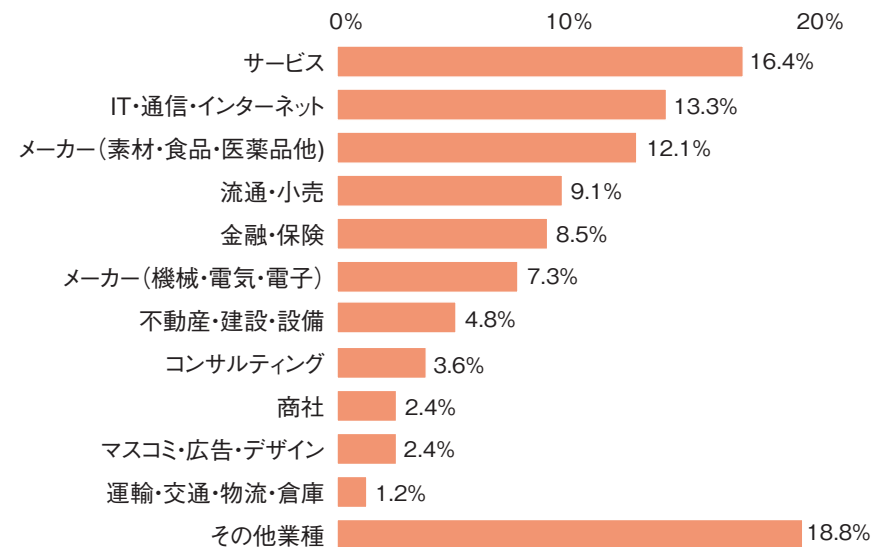
■就業経験（※就業経験がある20代が回答）



■就業中の職種（※就業状況：「在職中」を選択した20代が回答）



■就業中の業種（※就業状況：「在職中」を選択した20代が回答）



02

「転職」の捉え方

20代転職希望者の6割近くが、社会人になる前から転職を視野に。
「転職すべきか迷うことがあった」は7割超、早期離職のマイナスイメージ気にする人多く

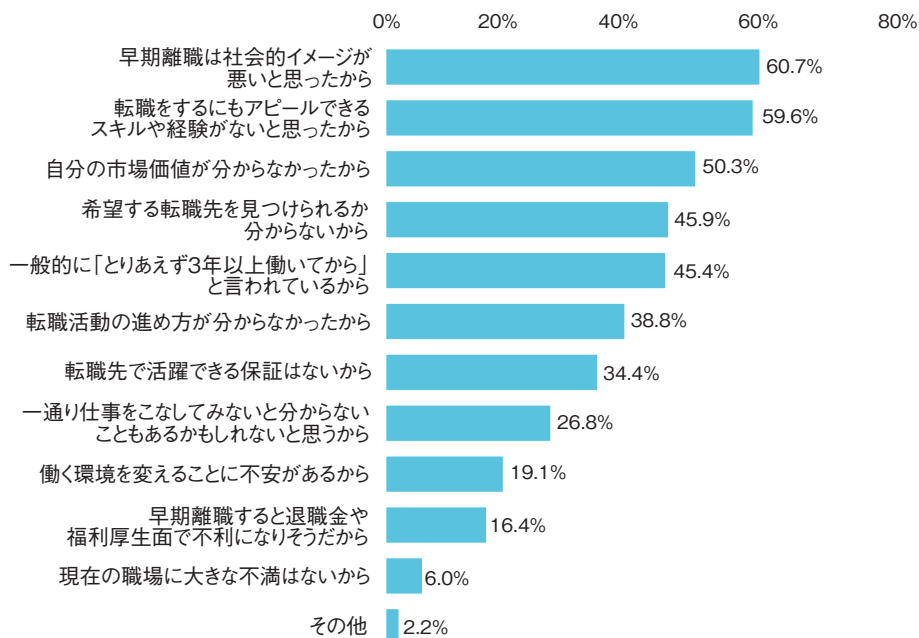
Q.社会人になる前から、転職を視野に入れていましたか？（回答数：254件）



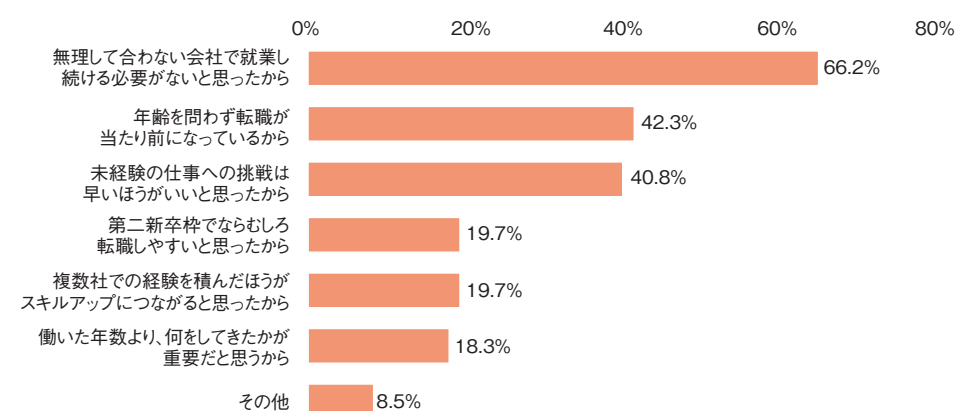
Q.実際に転職活動をするにあたって、転職すべきか迷うことはありましたか？（回答数：254件）



－転職すべきか迷った理由（複数回答）（回答数：183件）



－転職すべきか迷わなかった理由（複数回答）（回答数：71件）



20代の転職希望者はいつから転職を意識していたのでしょうか。「社会人になる前から転職を視野に入れていたか」を尋ねたところ、「はい」の回答が57.9%でした。新卒で就職する前から転職をキャリアの選択肢に入れていた人が6割近くを占めることが分かりました。「いいえ」は42.1%でした。

「実際に転職活動をするにあたって、転職すべきか迷うことがあったか」の質問に対しては、「はい」が72.0%に上りました。「いいえ」と答え、迷うことがなかった人は28.0%。早くから転職を意識はしていても、いざとなると迷う人が多いことが分かります。

迷った理由（複数回答可）は、「早期離職は社会的なイメージが悪いと思った」が60.7%で最多。次

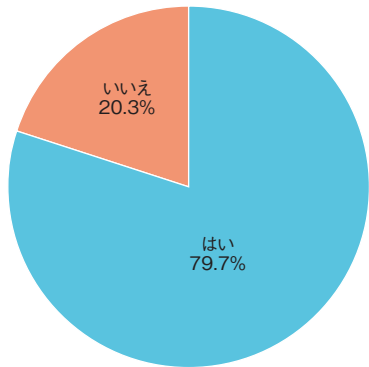
いで「アピールできるスキルや経験がないと思った」59.6%、「自分の市場価値が分からなかった」50.3%、「希望する転職先を見つけられるか分からない」45.9%、「一般的に『とりあえず3年以上働いてから』と言われているから」45.4%が続きました。早期離職に対するマイナスイメージを気にするとともに、自分の経験への自信のなさがあることがうかがえます。

迷わなかった理由（同）は、「無理して合わない会社で就業し続ける必要がないと思った」が66.2%で最多。次いで「年齢を問わず転職が当たり前になっているから」42.3%、「未経験の仕事への挑戦は早いほうがいいと思った」40.8%が続きました。

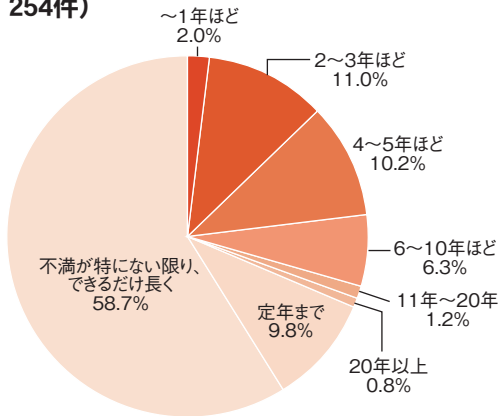
03 就職活動と転職活動の違い

「新卒の就活と比べ、重視することや企業を選ぶ視点変化」との回答が8割。
 転職先では長く働きたい人が7割近くに

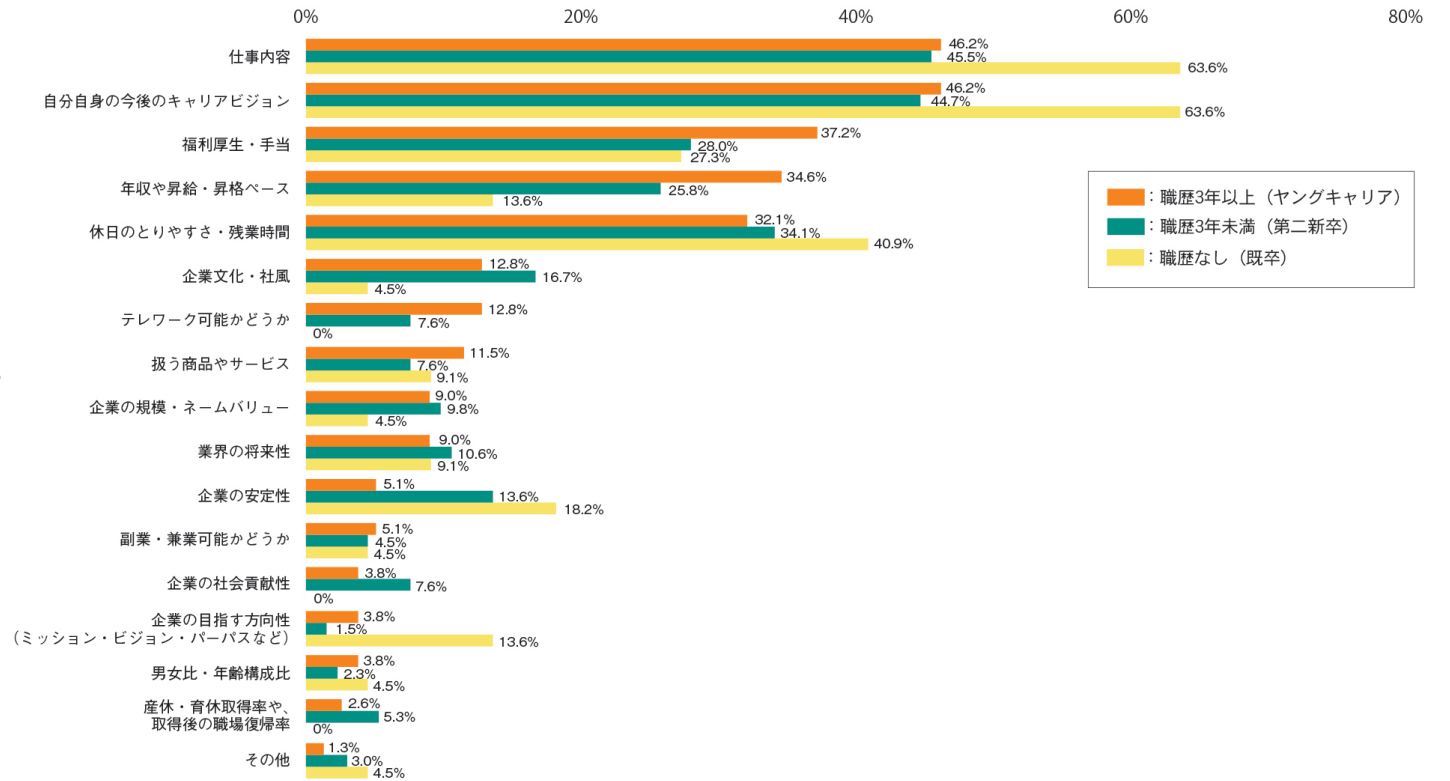
Q. 新卒での就職活動と比べて、重視するようになったことや、企業を選ぶ視点に変化はありましたか？（回答数：291件）



Q. 転職先の企業では、どのくらいの期間働きたいですか？（回答数：254件）



Q. どのような点を重視するようになりましたか？（回答数：210件）



転職活動について「新卒での就職活動と比べて、重視するようになったことや企業を選ぶ視点に変化があったか」を尋ねると、「はい」が79.7%に上りました。20代の8割が、就職活動のときとは異なる視点で企業を選んでいることが分かりました。

重視するようになった点を3つまで選んでもらったところ、「仕事内容」と「自分自身の今後のキャリアビジョン」がトップ2でしたが、3位以下は職歴の有無や長さで回答が分かれましました。職歴3年以上のヤングキャリアは「福利厚生・手当」「年収や昇給・昇格」「休日のとりやすさ・残業時間」、職歴3年未満の第二新卒

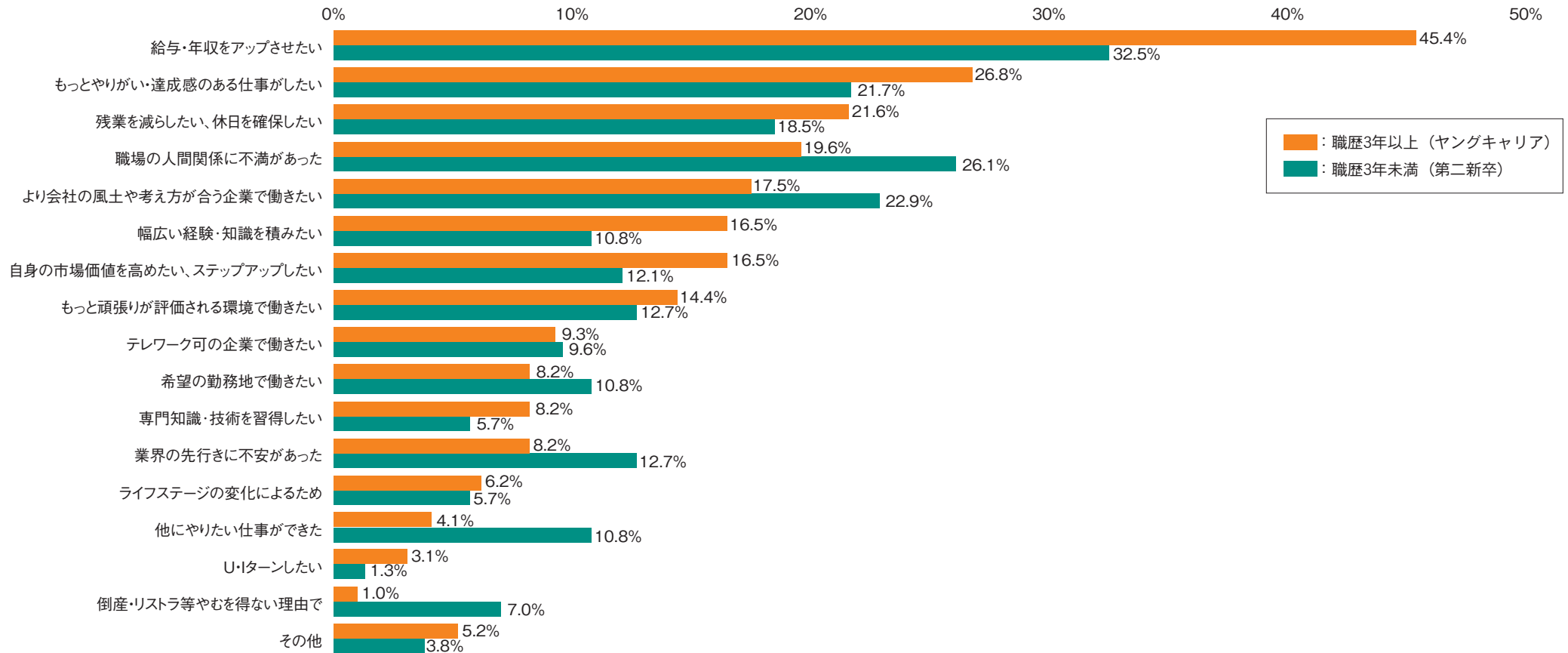
は「休日・残業」「福利厚生・手当」「年収や昇給・昇格」、職歴なしの既卒は「休日・残業」「福利厚生・手当」「企業の安定性」の順でした。

転職先の企業で働きたい期間は、「不満が特にない限り、できるだけ長く」が58.7%で最多。「2~3年ほど」11.0%、「4~5年ほど」10.2%が僅差で続き、5年以内の比較的短い期間で転職を重ねてキャリア形成を図ろうと考えている人が2割を超えました。ただ、次いで多いのは「定年まで働きたい」9.8%で、「できるだけ長く」と合わせると7割近くを占めました。転職先では長く働くことを希望する20代が多いことが分かります。

04 転職理由

20代の転職理由は「給与・年収アップ」が最多。
 ヤングキャリアは「やりがい」「残業・休日」、第二新卒は「人間関係」「風土」重視の傾向

Q.転職しようと思った理由は何ですか？（複数回答）（回答数：254件）



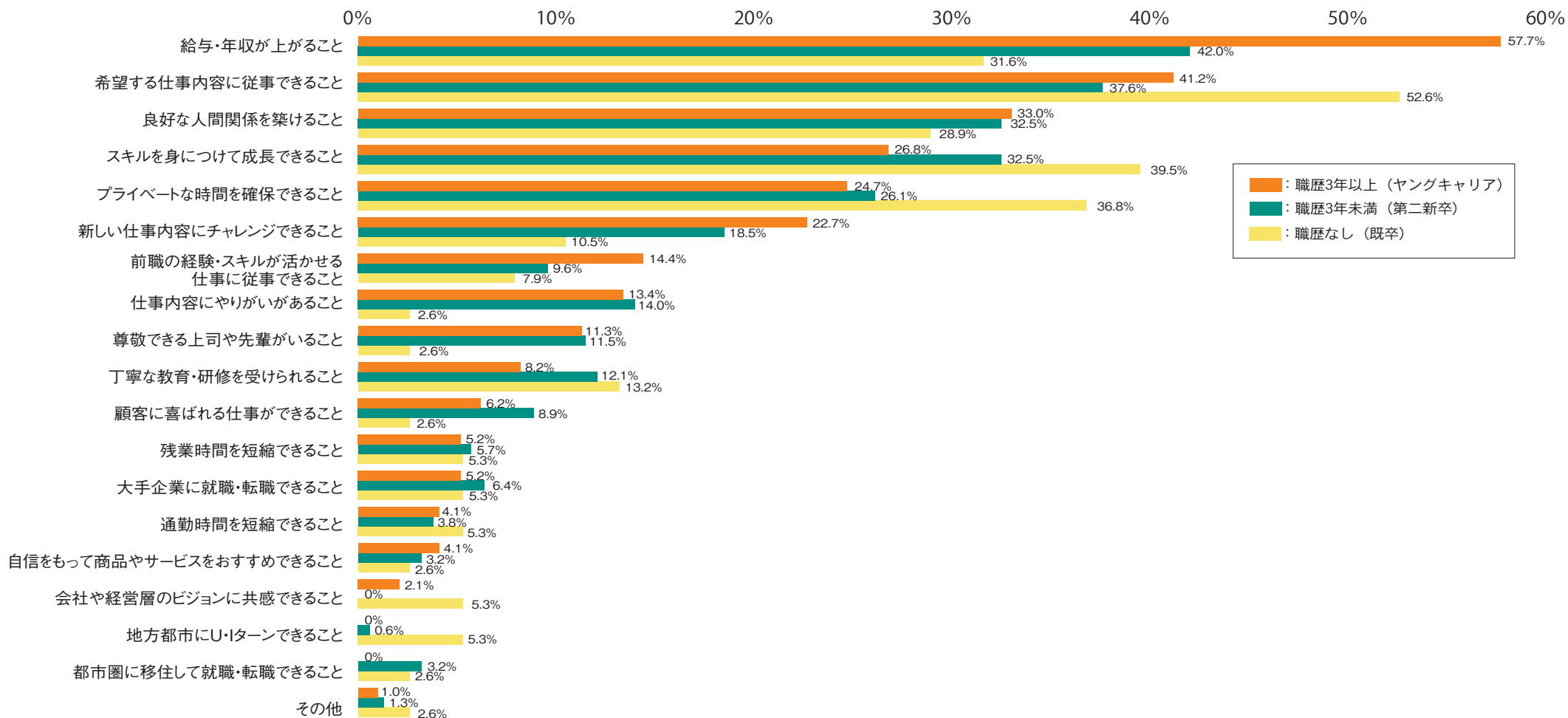
転職理由（3つまで選択）については、ヤングキャリアと第二新卒の回答に違いが出ました。ヤングキャリアのトップ3は、「給与・年収をアップさせたい」45.4%、「もっとやりがい・達成感のある仕事がしたい」26.8%、「残業を減らしたい、休日を確保したい」21.6%。一方、第二新卒は、「給与・年収アップ」32.5%、「職場の人間関係に不満があった」26.1%、「より会社の風土や考え方が合う企業で働

きたい」22.9%の順でした。

トップ5には同じ項目が並びましたが、1位の「給与・年収アップ」以外の順位の違いから、ヤングキャリアはやりがいや残業・休日を、第二新卒は人間関係や風土を重視する傾向があることが分かりました。

転職で実現したいことは、ヤングキャリア、第二新卒とも「給与・年収が上がること」が最多。
職歴なしの既卒者は「希望する仕事」がトップ

Q 就職・転職で実現したいことは何ですか？（複数回答）（回答数：303件）



就職・転職で実現したいこと（3つまで選択）については、職歴の有無で回答に差が出ました。ヤングキャリアは「給与・年収が上がること」が57.7%で最多。次いで「希望する仕事内容に従事できること」41.2%、「良好な人間関係を築けること」33.0%、「スキルを身につけて成長できること」26.8%が続きました。第二新卒も、1・2位は「給与・年収」42.0%、「希望する仕事」37.6%で同じ順位。3位に

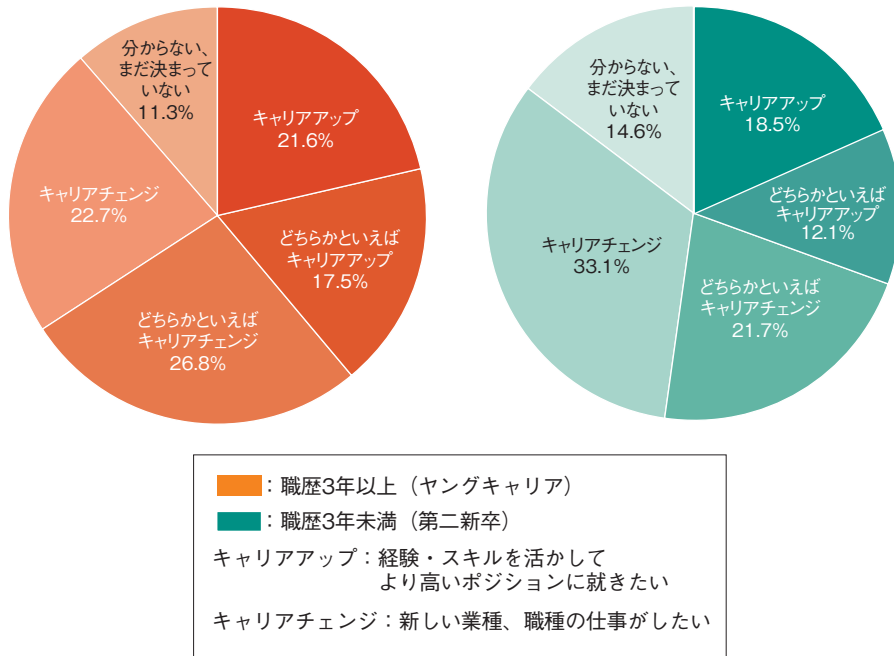
「人間関係」と「スキルを身につけて成長」が32.5%で並びました。

一方で、職歴なしの既卒者が就職で実現したいことは、「希望する仕事」52.6%が最多。次いで「スキルを身につけて成長」39.5%、「プライベートな時間を確保できること」36.8%が続き、職歴のある20代とは異なる結果が出ました。

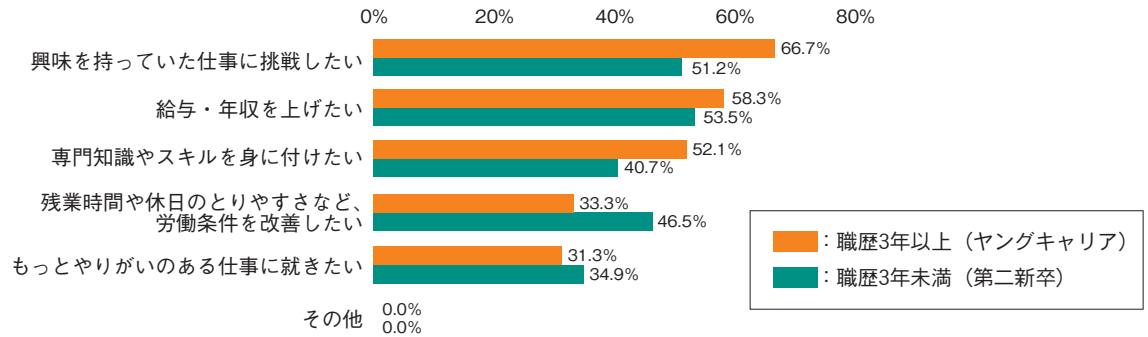
05 転職の方向性（転職で実現したいキャリア）

20代転職では「キャリアアップ」より「キャリアチェンジ」の希望者が多数。
キャリアチェンジでヤングキャリアは仕事内容、第二新卒は給与など待遇改善を重視

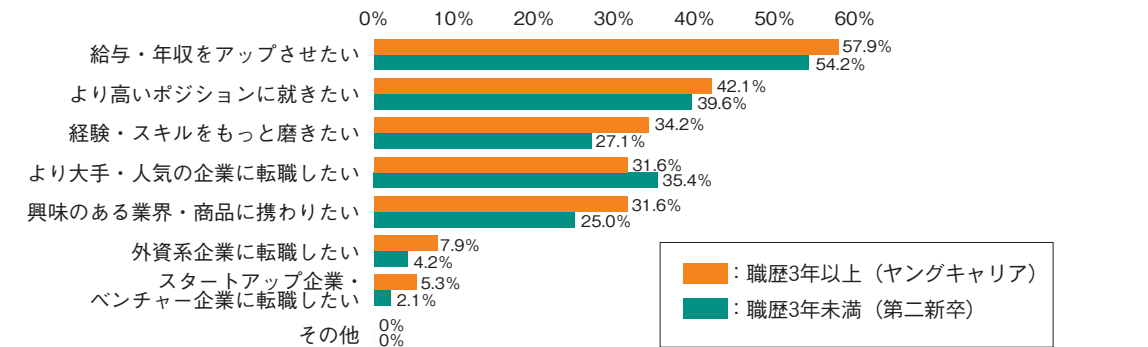
Q 転職において、「キャリアアップ」と「キャリアチェンジ」のどちらを希望しますか？（回答数：254件）



ーキャリアチェンジして実現したいこと（複数回答可）（回答数：134件）



ーキャリアアップして実現したいこと（複数回答可）（回答数：86件）



転職において「キャリアアップ」と「キャリアチェンジ」のどちらを望むか聞いたところ、ヤングキャリアは「キャリアチェンジ」希望者が「どちらかといえば」を含めて49.5%だったのに対し、「キャリアアップ」希望者は同じく39.1%でした。前年同時期の調査では「キャリアアップ」41.3%、「キャリアチェンジ」37.3%でしたが、今回は逆転してキャリアチェンジが多数派となりました。第二新卒は「キャリアチェンジ」希望者が同54.8%と過半数を占め、「キャリアアップ」の同30.6%と差がつかしました。ヤングキャリア、第二新卒ともに「キャリアチェンジ」希望者が多いものの、第二新卒のほうがその傾向が強いことが分かります。

経験業種・職種と異なる仕事に挑戦する「キャリアチェンジ」を通じて実現したいこと（複数回答可）は、ヤングキャリアと第二新卒で異なる結果に。ヤングキャリアは「興味を持っていた仕事に挑戦

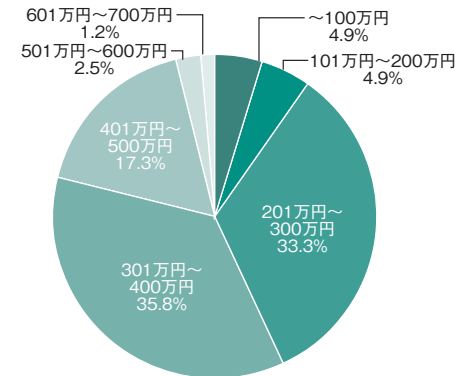
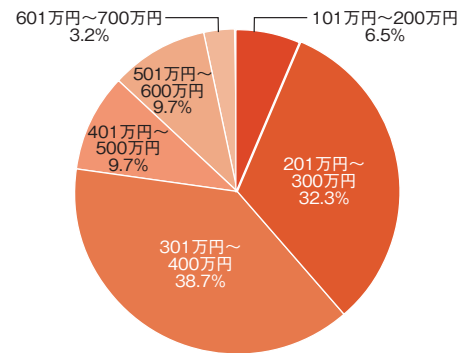
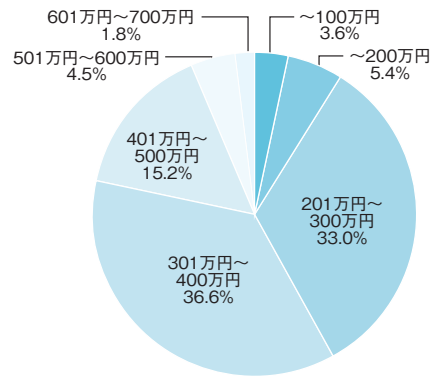
したい」が66.7%で最多。次いで「給与・年収を上げたい」58.3%、「専門知識やスキルを身に付けたい」52.1%が続きました。一方、第二新卒は「給与・年収」53.5%がトップで、次いで「興味を持っていた仕事に挑戦」51.2%、「残業時間や休日のとりやすさなど、労働条件を改善したい」46.5%の順。ヤングキャリアは仕事内容やスキルを重視し、第二新卒は給与や労働条件など待遇改善に重きを置く傾向がうかがえます。

「キャリアアップ」を通じて実現したいこと（同）については、ヤングキャリアは「給与・年収をアップさせたい」57.9%、「より高いポジションに就きたい」42.1%、「経験・スキルをもっと磨きたい」34.2%の順。第二新卒は「給与・年収アップ」54.2%、「より高いポジション」39.6%に次いで、「より大手・人気の企業に転職したい」が35.4%で続きました。第二新卒のほうが、大手企業への転職志向がやや強いことが分かります

06 年収

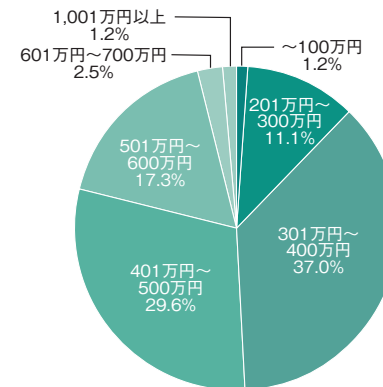
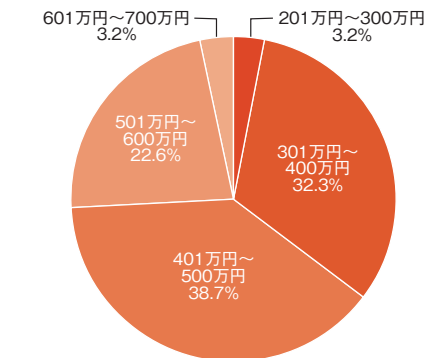
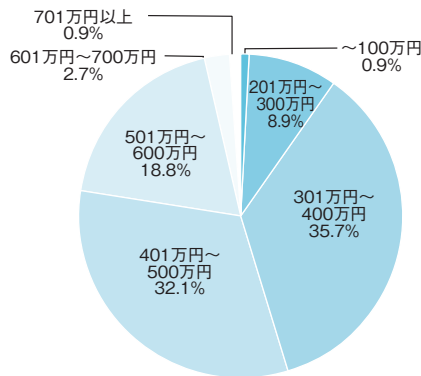
職歴ある20代の希望年収は「401万円以上」が54.5%。
ヤングキャリアは3分の2近く、第二新卒も半数を占める

現在の年収（就業状況：「在職中」を選択した20代が回答）（回答数：112件）



■ 職歴のある20代全体
■ 職歴3年以上（ヤングキャリア）
■ 職歴3年未満（第二新卒）

希望年収（回答数：112件）



■ 職歴のある20代全体
■ 職歴3年以上（ヤングキャリア）
■ 職歴3年未満（第二新卒）

職歴のある20代の現在の年収は、「301万～400万円」が36.6%で最多。次いで「201万～300万円」33.0%、「401万～500万円」15.2%が続きました。職歴別にみると、ヤングキャリアは「301万～400万円」が38.7%で最多。次いで「201万～300万円」32.3%、「401万～500万円」と「501万～600万円」が9.7%で同率でした。第二新卒は「301万～400万円」が35.8%で最多。「201万～300万円」33.3%、「401万～500万円」17.3%が続きます。400万円以下の構成では、ヤングキャリアと第二新卒に大きな差はありませんでした。

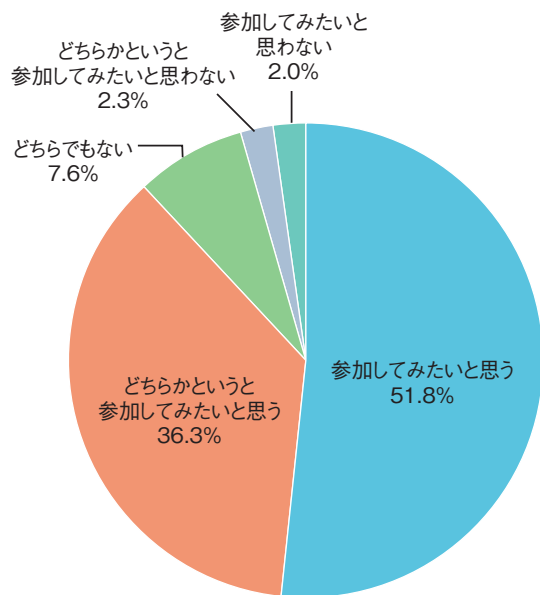
転職で希望する年収は、職歴のある20代全体では「301万～400万円」が35.7%で最多。前年同時期の調査でトップだった「401万～500万円」より低い金額となりました。ただし、2位の「401万～500万円」、3位「501万～600万円」など「401万円以上」の合計は54.5%に上り、半数を超えています。

希望年収を職歴別にみても、ヤングキャリアは「401万～500万円」が、第二新卒は「301万～400万円」がそれぞれ最多ですが、「401万円以上」の数値を合計すると、ヤングキャリアは3分の2近くに上り、第二新卒も半数を占めています。

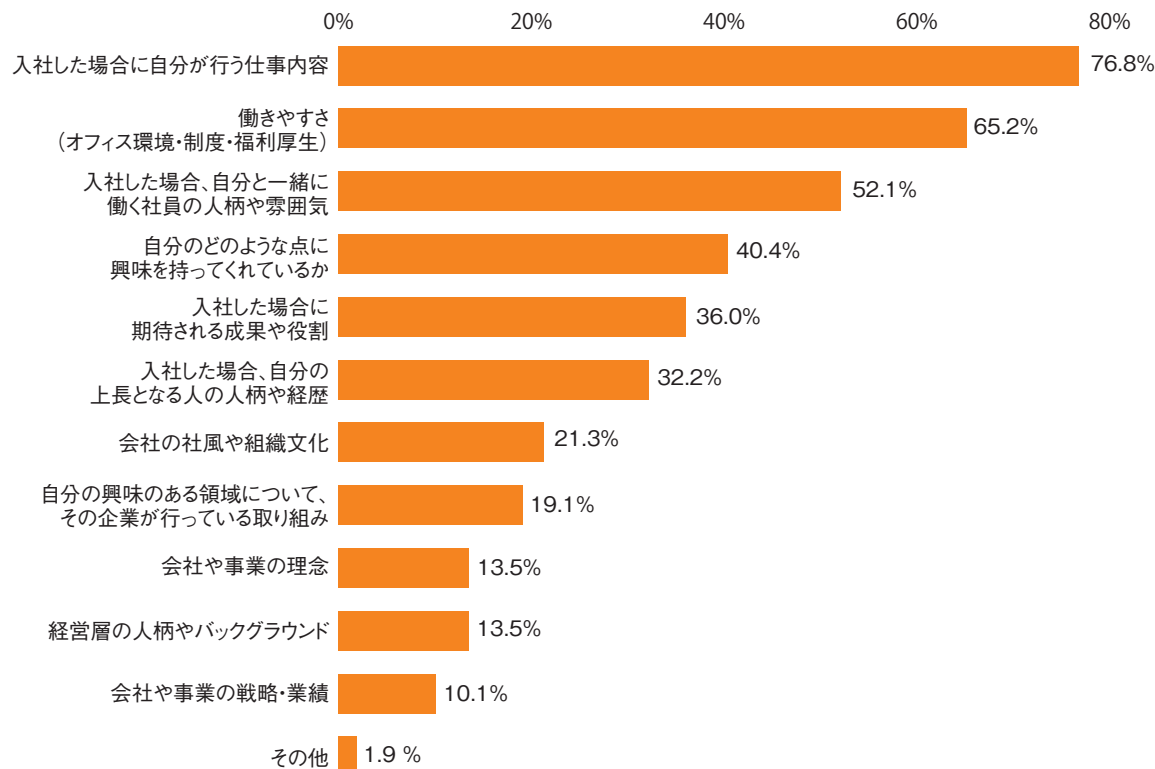
07 カジュアル面談

20代転職希望者の9割近くが「カジュアル面談」を希望。
 カジュアル面談で聞きたいことは「入社後の自分の仕事内容」が最多

Q 企業とのカジュアル面談の機会があったら、参加してみたいと思いますか？
 (回答数：303件)



Q カジュアル面談ではどのようなことを聞きたい(話したい)ですか？(複数回答可)
 (回答数：267件)



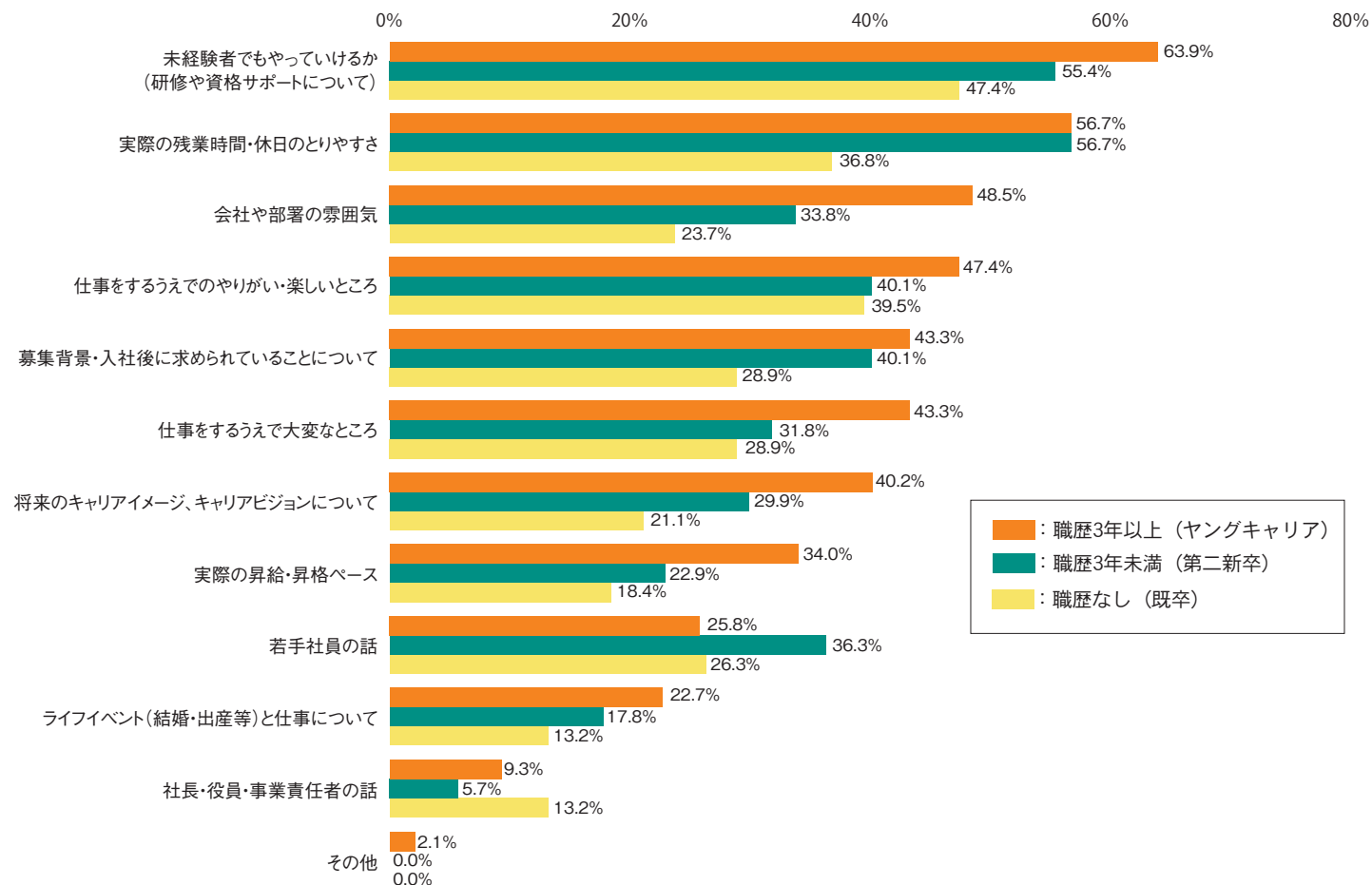
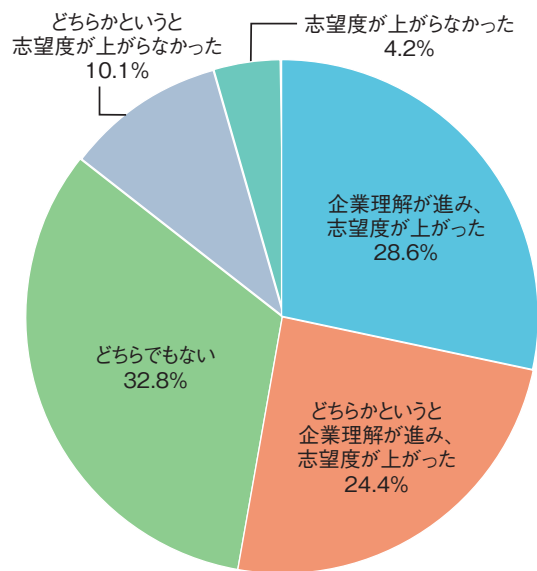
転職活動において、選考や評価を目的とせず気軽に話すことで相互理解を深める「カジュアル面談」の機会があったら参加してみたいか尋ねたところ、「参加してみたいと思う」が51.8%に。「どちらかという」と36.3%を合わせると9割近くを占め、20代転職希望者のほとんどがカジュアル面談を希望していることが分かりました。

カジュアル面談で聞きたい(話したい)こと(複数回答可)は、「入社した場合に自分が行う仕事内容」が76.8%で最多。次いで「働きやすさ(オフィス環境・制度・福利厚生)」65.2%、「入社した場合、自分と一緒に働く社員の人の人柄や雰囲気」52.1%が続きました。カジュアル面談を通じて、入社後の具体的な仕事内容や配属部署の雰囲気を知りたいという意向がうかがえます。

カジュアル面談参加者の過半数が「志望度が上がった」と回答 志望度が上がる情報は「未経験者でもやっつけていけるか」、研修などサポート体制を重視

Q カジュアル面談に参加したことで、志望度が上がったり、企業理解が進みましたか？
(回答数：119件)

Q 面接・選考過程でどのような情報が得られると志望度が上がりますか？(複数回答可) (回答数：303件)



転職活動で「カジュアル面談」に参加したことがある20代転職希望者に対し、志望度が上がったり企業理解が進んだりしたかを質問したところ、「企業理解が進み、志望度が上がった」との回答が28.6%に上りました。「どちらかという上がった」を合わせると53.0%となり、過半数を占めました。

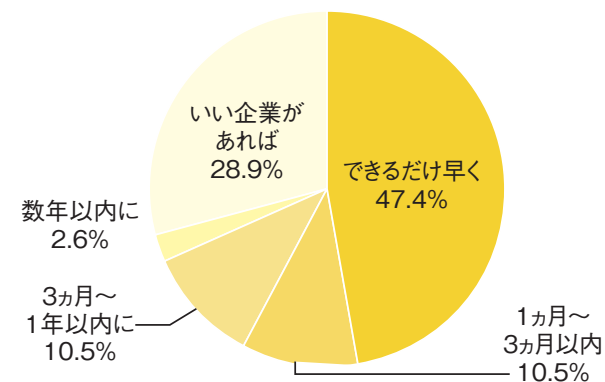
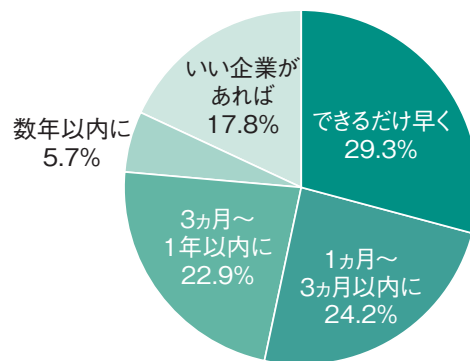
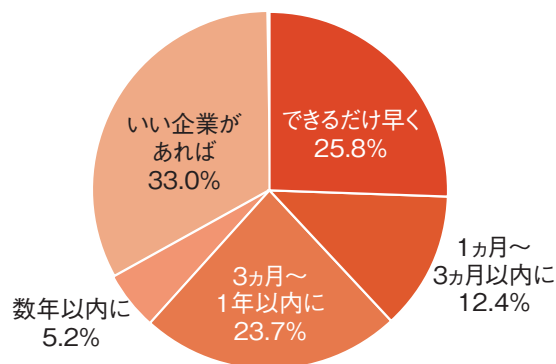
20代転職希望者に、面接・選考過程でどのような情報が得られると志望度が上がるか(複数回答可)を尋ねると、「未経験者でもやっつけていけるか(研修や資格サポートについて)」がヤングキャリアと既

卒で最多、第二新卒でも「実際の残業時間・休日のとりやすさ」に次ぐ多さで、20代転職希望者は研修などのサポート体制を重視していることが分かります。ヤングキャリアはどの選択肢も回答数が多く、3年以上の社会人経験をベースに幅広い情報から企業を知ろうとしています。第二新卒は「仕事をするうえでのやりがい・楽しいところ」「募集背景・入社後に求められていること」など業務のマッチングを比較的重視。既卒はいずれの選択肢も回答数が少な目で、迷いもうかがえる結果となりました。

08 転職活動を行う時期

「3カ月以内」の転職希望、ヤングキャリアは4割弱、第二新卒・既卒は半数超す。
第二新卒の積極姿勢目立つ

Q 就職・転職を希望する時期はいつですか？
(回答数：303件)



就職・転職を希望する時期を職歴別にみると、「できるだけ早く」と「1ヵ月～3ヵ月以内に」の合計が、ヤングキャリア38.2%、第二新卒53.5%、既卒57.9%と、いずれも多数を占めました。20代の多くが直近3ヵ月以内の転職を希望しています。

一方で、ヤングキャリアで6割超、第二新卒で半数近く、既卒でも4割超が、3ヵ月以上先を見据えて

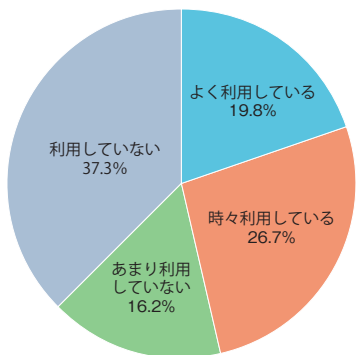
転職活動をしていることも明らかになりました。

「いい企業があれば」と必ずしも積極的に転職に取り組んでいない人の割合では、ヤングキャリアと既卒が3割前後を占めたのに対し、第二新卒は17.8%と2割を下回りました。第二新卒の積極姿勢が目立っています。

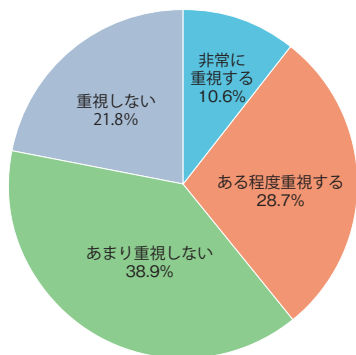
09 AI活用

「転職活動で生成AIを利用」が半数近く。
「自己PR作成・添削」が最多、応募書類・面接対策・企業研究など様々な場面で活用

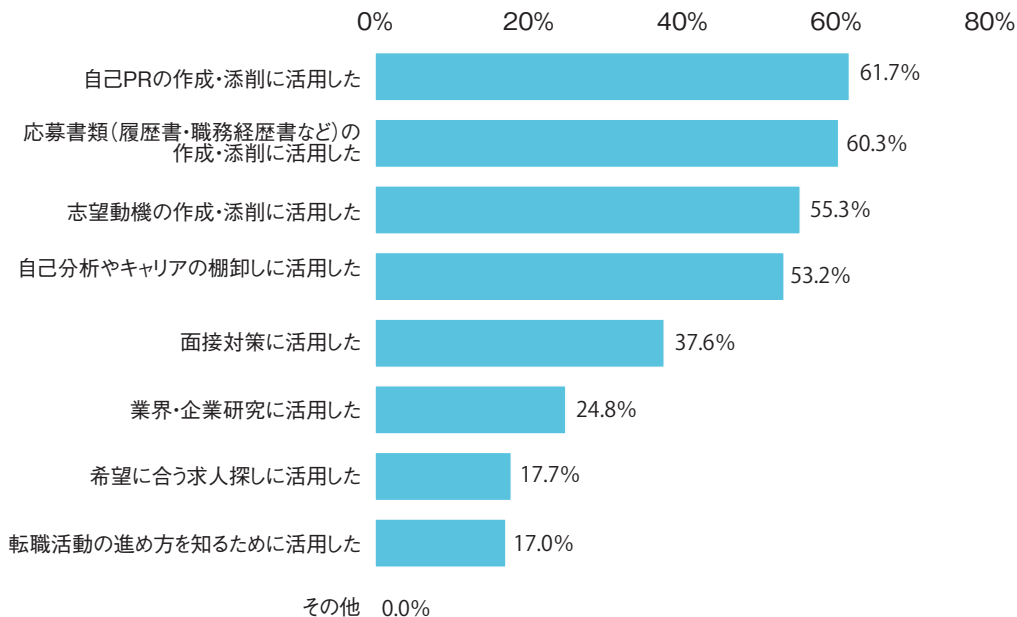
Q 就職・転職活動において、生成AI（ChatGPTなど）を利用していますか？（回答数：303件）



Q 転職先の企業において、「生成AIなどの最新技術」を活用できるかどうか重視しますか？（回答数：303件）



Q 転職活動において、生成AI（ChatGPTなど）を活用した場面を教えてください。（回答数：141件）



就職・転職活動で生成AIを利用しているかを聞いたところ、「よく利用している」19.8%、「時々利用している」26.7%を合わせると計46.5%。20代転職希望者の半数近くが、転職活動に利用していることが分かりました。「利用していない」は37.3%、「あまり利用していない」は16.2%でした。

具体的にどのように使ったかを聞くと（複数回答可）、「自己PRの作成・添削」61.7%が最多。以下「応募書類（履歴書・職務経歴書など）の作成・添削」60.3%、「志望動機の作成・添削」55.3%、「自

己分析やキャリアの棚卸し」53.2%、「面接対策」37.6%、「業界・企業研究」24.8%など、転職活動で必須とされる様々な作業で活用していることが分かりました。

一方、転職先の企業で生成AIなどの最新技術を活用できるかどうかは、「重視しない」21.8%と「あまり重視しない」38.9%を合わせると60.7%に上り、多数派を占めました。「重視する」派は4割ほどで、今のところ企業選びにはあまり影響していないようです。

GAKUJO REPORT



転職意識調査レポート

2025年10月発表

「R e 就活」等に関するご案内・お問い合わせはこちら

R e 就活ご案内ページ

<<https://service.gakujo.ne.jp/services/rekatsu/>>

その他サービスに関するお問い合わせ

<<https://service.gakujo.ne.jp/services/>>

つくるのは、未来の選択肢



- 本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 9階 TEL (03) 6775-4510 (代)
- 大 阪 本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-10 学情梅田コンパス TEL (06) 6346-6861 (代)
- 名古屋支社 〒460-0003 名古屋市中区錦2-20-15 広小路クロスタワー 12階 TEL (052) 854-7533 (代)
- 京 都 支 社 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング3階 TEL (075) 213-5611 (代)
- 福 岡 支 社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル8階 TEL (092) 477-9190 (代)

株式会社学情は東証プライム上場・経団連加盟企業であり、20代・30代の就職・採用をサポートする大手就職・転職情報会社です。会員数260万人の「20代向け転職サイト7年連続No.1〈R e 就活〉」(2019年～2025年 東京商工リサーチ調査 20代向け転職サイト 第1位)をはじめ、「30代向けダイレクトリクルーティングサービス〈R e 就活30〉」、会員数60万人の「スカウト型就職サイト〈R e 就活キャンパス〉」や、合同企業セミナー「転職博」「就職博」を運営しています